

口腔デジタルサイエンス入門（星 憲幸）

Introduction to Oral Digital Science (Noriyuki Hoshi)

キーワード

- ①口腔科学
- ②デジタル技術
- ③CAD/CAM技術
- ④DX
- ⑤歯科臨床研究

関連する学位授与方針

- ①
- ②

- ⑤

関連する教育実施方針

- ①
- ②

- ⑥

授業概要

急速に進化している歯科医療でのデジタル化に対する、問題点と将来展望を模索し、今後必須となるデジタル技術について必要となる基礎知識と能力の獲得、その課題を解決する手段の構築方法を概説する。特に、デジタルデータの扱い方を中心に、新たな研究となるテーマの検討法とそこから得られたデータの整理、分析、考察の方法について解説する。

授業科目の学修目標

歯科医療の際のデジタルデータの取得と扱い方を中心に、研究方法の立案をするため必要な知識を修得することを目標とする。

授業計画

- ①歯科医療におけるデジタル化の基礎的事項
 - ・歯科医療のデジタル化の歴史的流れ：4コマ 星憲幸
 - ・歯科医療に必要なデジタル基礎知識：8コマ 星憲幸
- ②医療におけるデジタルデータの倫理指針と個人情報の保護：4コマ 星憲幸
- ③口腔領域のデジタル研究について
 - ・口腔デジタルデータの採得：6コマ 星憲幸
 - ・CAD/CAM基礎知識：4コマ 星憲幸
 - ・デジタルデータの活用法：4コマ 星憲幸

教科書および参考書

クリニカルデジタルデンティストリー，日本歯科評論別冊2020

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

歯科臨床に関する大学歯学部卒業レベルの予備知識が要求される。また、国内外の原著論文や総説論文を熟読し、その内容を理解する能力が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ①歯科医療におけるデジタル化の基本的概要について説明できる。
- ②歯科医療におけるデジタルデータの倫理規範を理解し、応用できる。
- ③歯科医療におけるデジタル研究を理解し、推し進めることができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
40%	0%	30%	0%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を筆記試験にて判定する。1回：40%
- ・レポートは、講義中に指定された課題を提出する。15%×2回=30%
- ・口頭試問は、講義ごとに毎回行い、その日の理解度を判定する。1%×30回=30%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。ただし、倫理的事項は100%とする。